

bethel hospice letter winter

ホスピスだより

tender loving care vol.12



松山ベテル病院 ホスピス病棟
〒790-0833

松山市祝谷6丁目1229番地

TEL 089 (925) 5000

FAX 089 (925) 5599

ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>



医療法人 聖愛会
松山ベテル病院



～松山ベテル病院での出会い～

医師 越智 拓良

ベテル病院で勤務を開始して、はや5ヶ月が過ぎようとしています。その間、多くの患者さん、家族に出会い、いくつもの心に残る言葉を頂きました。ここに紹介させていただきます。

- ① 「身体には安全な医療を、心には安心な診療を。母の懐にそっと入るような気持ちでいけるところまでいく。」→50代男性の言葉です。ご自分に残された時間が短いと判りながらも、医療者である私たちへ、がん患者さんの気持ちを代弁するような言葉を伝えてくださりました。母の懐に入っていくような・・・そのくぐりには本当に心に温かく響きます。
- ② 「一発逆転ホームランがあるとは思っていません。ただ平穏な日常が一日でも長く続けばと願っています。」→40代女性の言葉です。4年前から病氣と闘い続けてなおも病氣と闘う気持ちを持ち続けた非常に芯の強い女性です。幼い子供を残して先立つ親のやりきれない気持ちを教えていただきながら、診察に従事させていただきました。看取りの場での、泣きじゃくる子供たちの様子と、じっと傍で見守り続けるご主人の姿が忘れられません。
- ③ 「夢の中でも夫に叱られていました。また叱られたなと思っていると、目が覚めて、夢だったんだと気付くのです。」→90代の女性の言葉。ご本人は元教師で、数ヶ月前に99歳で亡くなった夫も教師でした。ご主人は非常に厳格な方で、自分にも他人にも厳しかったとのことです。亡くなられる数日前に、上のような話をして頂きました。今はご主人とともに安らかに過ごしておいでだと思います。
- ④ 「・・・。」→70代男性。在宅療養中にご本人の半生を振り返っていただいている中で、東日本大震災の映像がテレビで流れていました。ちょうどその場面と一緒に見ていて、当時その映像を見たときのお気持ちを伺ったところ、返答されなかったという場面がありました。大震災の映像から連想される“死という事に対して、ご自分の中ではまだその表現をうまく言葉では伝えられなかったのかもしれませんが。その後1週間ほどで人生を全うされますが、ご家族には全て伝える事を伝えての立派なお別れをされていました。
- ⑤ 「確かに自宅での介護は大変でした。でも私にとっては親子関係の修復のための大切な時間なんです。」→80代の病氣の母を持つ50代娘さんの言葉です。病氣による療養・介護というものが、今までは必ずしも良好ではなかったかもしれない家族関係を、大きく改善させる力を持っているという事を他の患者さん・家族でも度々目にすることができました。家族のもつ底力の大きさに圧倒されます。他にも数々の心に残るお言葉を頂きました。これらのすばらしい出会いに感謝しつつこれからの診療に生かしていけたらと日々願っております。

2013年

松山ベテル病院が新しく生まれかわります！！

今年の4月より、病院の増改築工事が始まりました。工事期間中、皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



松山ベテル病院増改築に伴うホスピス病棟の増床にむけて

院長 中橋 恒

松山ベテル病院におけるホスピスケアの取り組みは、1982年4月に病院が設立された当初から「身体から病を取り去ることはもちろんの事、心身ともに病んでいる患者様への全人的ケアを行う」事とする『ホスピス精神』を基本理念としてスタートしました。実際の活動として2000年4月に愛媛県下初のホスピス病床を開設し、21床の病床で年間200名前後の患者様に入院でのホスピスケアの提供を行なってきました。一方、医療法人聖愛会では、入院ホスピスケアの提供にとどまらず、患者・ご家族様が望まれる療養の場でのケアの提供の大切さを痛感し、在宅ホスピスケアにも力を入れ、現在年間160名を超える患者様への在宅ホスピスケアの提供を行なっています。

このような歩みの中で、松山ベテル病院が設立された当初より掲げてきた『ホスピス精神』を大切にした医療・看護・介護の在り方は、今日においても変わる事なく日々の仕事の中で誇りを持って実践していますが、30年近い年月の中でベテル病院の療養環境は、患者様のご希望に合わない面も多々見られるようになり、ベテル病院が培ってきた患者様の目線でのお世話の在り方をさらに充実させたい思いから、今回ベテル病院の増改築工事を行なう事を決断し、2013年3月の完成を目指して、現在工事を進めているところです。

今回の増改築計画では総病床数は155床と変わりませんが、今後増え続ける事が予想されるがんの患者様へのホスピスケアの充実のためホスピス病床の再編と入院療養スペースの拡大を計画しています。

ホスピスケアのこれからの在り方は、住み慣れた家でその人らしい生活を送る支援にあると考えていますが、増え続けるがんの患者様の在宅療養支援のためには、入院療養というバックアップが充実してこそ、在宅ホスピスケアの充実に繋がるものと考えています。

これからも患者様の目線に立ったホスピスケアの提供に努めたいと考えておりますがその実現のために工事に伴う多大なご迷惑をおかけすることをお詫びするとともに、ご理解とご支援をいただきたいと願っております。

8月8日。晴れ。

毎年恒例の、ベテルホスピスピアガーデン、1日限りの開店です！

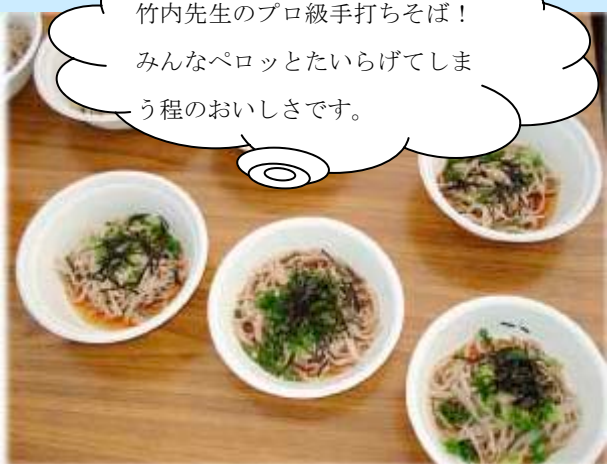
今年は、例年よりも沢山の患者様が参加してくださり、みんなで盛り上がりました。少しでも夏を感じていただければと思い、毎年開催してまいりました。

楽しんでいただければ幸いです。(´´)



縁の下の力もち。ボランティアさんです。いつもありがとうございます。







ボランティア募集しています！！



病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださる方、チャペルでのレクレーションにご協力くださる方等々。心身ともに健康な成人で、定期的・継続的に活動いただける方の問い合わせをお待ちしております。

TEL : (089) 925-5000 FAX : (089) 925-5599 E-mail : volunteer@bethel.or.jp

ボランティア委員会 (担当：森)



ホスピス献金をお願いします！！

ホスピス献金は、ホスピス病棟や難病病棟の援助等、(医)聖愛会の諸活動の援助の為に(医)聖愛会に寄付として頂いております。皆様方の暖かいご支援をお願い申し上げます。

★ 現金送金 ★

〒790-0833 松山市祝谷6丁目1229番地
松山ベテル後援会 (松山ベテル病院内)

★ 郵便振替口座 ★

口座番号：01610-2-25364 名義：松山ベテル後援会

※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。

編集後記

ビアガーデンがこの間とっていたら、観月祭も過ぎ冬がやってきました。

いろいろな出会いと別れを繰り返しながら、時間は自分たちの上を通り過ぎていきます。病院も建て替えが進んでいます。駐車スペースが減ったり、騒音などで皆様にご迷惑をおかけしますが、これも大きな変化の一つかと思えます。自分たちもよりよく変わらねばと思っています。これからもご指導よろしくお願いいたします。朝晩冷え込むことが多くなりました。皆様ご自愛の程を。

編集委員会：竹内、高橋、田中、戸田